

練馬区の
地域活動団体などを
毎月紹介しています!



ねりま 地域活動ニュース

発行：練馬区立区民協働交流センター

vol.52

今月の紹介団体 ****



2面

ねりまおもちゃクラブ
榎村 郁雄さん



3面

認定NPO法人生態工房
増永 望美さん

練馬区相談情報ひろば実施団体主催イベント

人生100年時代を輝いて生きる

練馬終活フェスタ

9月6日(月)10時~16時

光が丘区民センター 3階多目的ホール

これからの人生を生き生きと
過ごすための「終活」について
知る講演会や相談イベント



- 講演「わが家で生きる」
講師：練馬区地域医療課職員
- 落語「天国からの手紙」
出演：生島 清身 氏
- 相談・体験ブースあり

【定員】150名(事前申込制・先着順)

【費用】200円(当日受付で支払い)

詳しくは、NPO法人楽膳倶楽部ホームページ
(<https://www.rakuzenkurabu.jp>) をご覧ください。



【申込】NPO法人楽膳倶楽部に電話またはメールにて TEL：03-6915-6300 E-mail：rakuzen@tokyo.nifty.jp
メールでお申込みの場合は、①氏名(フリガナ) ②住所 ③電話番号をご記入下さい。

ものを大切にし、ものづくりの楽しさを伝える

ねりまおもちゃクラブ



会長の榎村郁雄さん(後方左)と事務局の安藤信義さん(中央)とメンバーの皆さん

壊れたおもちゃを手に、次々と石神井公園区民交流センターを訪れる親子連れ。この日は、月に2回開かれる「おもちゃの病院」の日。首が取れた人形や動かなくなった電車、音が出なくなったゲーム機などを預かり、ねりまおもちゃクラブのおもちゃドクターたちが“治療”していきます。

1997年に設立されたねりまおもちゃクラブは日本おもちゃ病院協会に所属し、おもちゃの修理のほか、子どもたちに昔ながら



メンバーはリタイア後のシニア層が中心。それぞれの得意分野を活かしたチームワークが持ち味です

の手づくりおもちゃの作り方を教える活動をしています。現在は18名のメンバーで、年間なんと約300個のおもちゃを修理しているそう!

去年は緊急事態宣言でセンターが閉鎖し、思うように活動できませんでしたが、その間も多数の問い合わせが寄せられていました。

「以前は修理の様子を子どもたちに見せることもありましたが、コロナ禍の今、受付には透明シートを設置し、修理室への入室はメンバーのみとするなど感染防止対策を徹底しています。さらに、紫外線殺菌ランプと段ボール箱でおもちゃを殺菌する装置も作りました」とメンバーの加藤さん。さすが、おもちゃドクターたちは感染対策グッズのDIYもお手の物!

メンバーはみんなものづくりが大好きで、修理に必要なネジや金具などを探しに秋葉原の電気街を歩き回ることもあるそう。おもちゃを修理し



2019年の練馬こどもまつりの様子。手づくりおもちゃのブースは子どもたちに大人気!

ている時は、相談し合ったり、アドバイスをもらったり…和気あいあいとした雰囲気です。

「最近は電子回路がに化されたおもちゃが多く、今までの技術だけでは直せないケースも増えてきました。分解した人形やぬいぐるみは見た目もきれいに戻さないとい

いけないので、縫い目が見えないようにするなど、技術向上を目指して日々努力しています」とメンバーの方々。会長の榎村さんは、子どもたちが喜ぶ笑顔が励みになると言います。

「壊れたら捨てるのではなく、直して使おうとする若い世代が増えてるのが嬉しいですね」

子どもたちの笑顔のためにベストを尽くす姿勢は、年齢を感じさせない情熱にあふれていました。おもちゃの修理の活動に触れ、ものを大切にする子どもたちが増えていくと良いですね!

■ねりまおもちゃクラブ

代表：榎村 郁雄
TEL：03-5241-7040(鈴木)
おもちゃの病院：毎月第2・第4
土曜日 13時～15時
場所：石神井公園区民交流センター

地域活動団体助成金等情報

助成内容や応募条件などは各助成金によって異なりますので、必ず事前に詳細を確認してください。募集要項・申請書類については、各ホームページからダウンロードしてください。

■公益財団法人 ALSOK ありがとう運動財団

「令和3年度福祉車両および活動助成金の寄贈先公募」

【対象団体】運営主体が社団法人、財団法人、社会福祉法人、NPO法人、地域公共団体等で、かつ公共性が高く営利を目的とせず、社会福祉・社会奉仕に寄与する活動を行う団体(法人)。*会社法人は応募できません。

【福祉車両】車椅子のままでも乗降可能なスロープ付き「ミニバン」または施設利用者の送迎用の「ミニバン車」のどちらか。

【助成金額】1件あたり50万円

【応募期限】2021年9月30日

【関連URL】<http://www.alsok-arigato-foundation.alsok.co.jp/>

【問い合わせ】公益財団法人 ALSOK ありがとう運動財団事務局
〒107-8511 港区元赤坂1-6-6 安全ビル
TEL：03-3470-6267(平日10:00～16:00)
E-mail：arigatou@alsok.co.jp

■公益財団法人 大和証券福祉財団

「2021年度(第28回)ボランティア活動助成」

【助成対象】1.高齢者、障がい児者、子どもへの支援活動、およびその他社会的意義の高いボランティア活動

2.地震・豪雨等による大規模自然災害の被災者支援活動

【対象団体】5名以上で活動し、かつ営利を目的としない団体(任意団体、NPO法人、財団法人、社団法人、大学のボランティアサークル等)。

【助成金額】1件あたりの上限額：30万円

【応募期限】2021年9月15日

【関連URL】<https://www.daiwa-grp.jp/dsf/grant/outline.html>

【問い合わせ】公益財団法人 大和証券福祉財団 事務局
〒104-0031中央区京橋1-2-1 大和八重洲ビル
TEL：03-5555-4640 E-mail：fukushi@daiwa.co.jp

武蔵野の自然を守り続けるために

認定NPO法人 生態工房



事務局の増永 望美さん

光が丘公園バードサンクチュアリに生息する野鳥や昆虫、水生生物、植物などの生息環境を守り、武蔵野の自然の保全と復元を目指しているのが、認定NPO法人生態工房です。アメリカザリガニやブルーギルなどの外来生物を駆除したり、水草を刈って野鳥の生息に適した環境を整えたりする活動をしています。また、水辺の生きもの教室や樹液に集まる夜の昆虫観察イベントや、企画展、写真展なども定期的に開催しています。



バードサンクチュアリの観察池で行われた「光が丘水辺の生きもの教室」の様子

バードサンクチュアリの向かいに広がる「すすき原っぱ」と呼ばれる茅原(かやはら)も、生態工房が管理している場所。ここには100種類以上の在来生物が自生し、秋になるとススキやオギなどが背丈を超える高さに成長する、練馬区最大の原っぱです。一見手付かずの自然のように見えますが、きちんと管理されているからこそその景観なのだとか。毎月第4土曜日を「草はらの日」とし、外来草本の抜き取りや刈草の運び出しを行っています。

「放っておくと草が育ち、やがて木が生えて林になってしまう。茅原は、人が守っていかねば消えてしまう景観なんです」と話すのは、事務局の増永さん。丈のある草を運ぶのはかなりの重労働ですが、地域のボランティアメンバーの支えのおかげで成り立っているとのこと。

すすき原っぱでも、季節ごとに数多くのイベントが企画



今年の5月の「草はらの日」には、刈った草の運び出しの作業を行いました

されています。特に秋冬の落ち葉かきは、集めた落ち葉で焚き火をして焼きいもや焼きりんご

が楽しめるとあって、親子連れに大人気! 7月は、採取したチガヤを使って、練馬に伝わる伝統的な

七夕飾り『ちが馬』を作る恒例イベントを開催。普段は立ち入り禁止の原っぱに入ってチガヤを探す際、珍しい昆虫や生きものを発見することもあり、とても楽しいと好評だそうです。

「身近な地域にこんな場所があるということ、人と共存していくための自然環境がどのように保たれているかということを知ってもらえたら嬉しいですね」と増永さん。

「草はらの日」は飛び入り参加も大歓迎! バードサンクチュアリは年に10回ほどの平日と土・日・祝日に開園していますので、ぜひ自然と触れ合う体験を楽しんでみてください♪

■ 認定NPO法人 生態工房

TEL : 0422-27-5634

Email : eco@eco-works.gr.jp

<https://eco-works.gr.jp/>

■ 公益財団法人 住友生命健康財団

「2021年 スミセイ コミュニティスポーツ推進助成プログラム」

【助成対象】一般：地域の中で一人ひとりの健やかな暮らしにつながるコミュニティスポーツ

特定：心身の障がいや長期療養などにより、社会参加が困難な状況にある人と共に楽しめるコミュニティスポーツ

【対象団体】・日本国内に活動拠点のある民間の非営利団体で、団体としての活動実績があるもの

・団体の目的や活動が政治・宗教などに偏っておらず、反社会的勢力とは一切関わっていないこと

【助成金額】1件あたりの上限額：チャレンジコース…50万円
アドバンスコース…300万円(2年間)

【応募期限】2021年9月22日

【関連URL】<https://skzaidan.or.jp/>

【問い合わせ】公益財団法人 住友生命健康財団

〒160-0003 新宿区四谷本塩町4-41 住友生命四谷ビル6階

TEL: 03-5925-8660 FAX: 03-3352-2021

E-mail: sports@am.sumitomolife.co.jp

■ 公益財団法人 ベネッセ子ども基金

「2022年度重い病気を抱える子どもの学び支援活動助成」

【助成対象】重い病気により長期入院や長期療養をしている子どもの意欲を高め、学びに取り組む手助けとなる事業

【対象団体】上記助成テーマで活動を行っている非営利団体

【助成金額】1件あたりの上限額：200万円程度

【応募期限】2021年9月24日

【関連URL】<https://benesse-kodomokikin.or.jp/subsidy/>

【問い合わせ】(株)グロップ内 ベネッセ子ども基金助成事務局

〒277-0831 千葉県柏市根戸206-3 北柏ビル2F

TEL: 04-7137-2570 (月~金 10:00~17:00)

E-mail: kodomokikin@grop.co.jp

～“ワクチン接種”正しい情報で不安を取り除きたい～ 光が丘ボランティアの会「ワクチン接種無料相談会」

7月の下旬、光が丘ボランティアの会が開催する「ワクチン接種無料相談会」取材してきました。

光が丘ボランティアの会は、普段、高齢者の暮らしに役立つ催しや、毎朝の公園清掃などを行っている団体です。ワクチン接種の予約が始まって以降、会長の小山さんのもとに多くの相談が寄せられたことをきっかけに、従前のボランティア活動に加えて、ワクチン接種無料相談会を始めました。この無料相談会は毎月4～5回開催しており、現在団体が行っている活動の7割がワクチン関連の活動とのこと。

取材に伺った日も、小山さんがワクチン接種の予約について相談を受けていらっしゃいました。接種券に同封されている書類にメモを加え、自身が準備した資料も使いながら、丁寧に説明します。「あなたの家から近い接種会場はここだね」「予約できたら、問診票の記入も手伝うからまた連絡してね」など、相談者一人一人に合わせた、きめ細やかな案内は、地域に根差して活動する団体だからできること。「行政が高齢者全員に対し、きめ細やかな案内をするのは難しい。行政が対応しきれないところを地域の力でカバーしていきたい」と小山さんは言います。

相談に来られた方には、新聞の報道や医師会の発表など最新の情報に加えて、副反応が出た場合、どこに相談すると良いかなども説明します。安心してワクチンを接種してもらうために、そういった情報を伝えることがとても重要とのこと。

ワクチンに対して不安を感じる方へ正確な情報を届けようと、

小山さんが始めたこの取り組み。一人暮らしの高齢者は、ワクチン接種について悩んでいても、家族や親しい人に相談しづらい環境にいるため、

一人で抱え込み、正確な情報がないなかで判断してしまう傾向があるそうです。「最終的にワクチン接種をするかしないかは本人が決めるべきものなので、絶対に強制はしません。ただ、正しい情報を知り、メリット・デメリットをきちんと理解した上で判断してほしい」と小山さんは言います。

相談会の参加者からは「副反応について学ぶことができたので、不安が和んだ」「予約の取り方を手取り足取り教えていただき、無事にワクチンを接種することができた」など感謝の声が集まっています。

新型コロナウイルスが流行してから、家に閉じこもりがちな高齢者の孤立を懸念する声もあるなか、光が丘ボランティアの会のように地域に住む高齢者をサポートする団体は、とても心強い存在です。誰もが不安を感じているこの時代だからこそ、こういった地域での助け合いの輪が広がっていくと良いですね。



練馬区社会福祉協議会 令和4年度(令和3年度申請・令和4年度使用)助成事業説明会

練馬区社会福祉協議会では、赤い羽根共同募金・歳末たすけあい運動募金を原資として、社会福祉事業活動に対して助成を行っています。申請を希望される方は説明会にご参加ください(要予約)。

【日時】①2021年9月2日(木) 18時～19時30分 申込締切:8月25日(水)
②2021年9月17日(金) 13時30分～15時 申込締切:9月7日(火) ※両日とも説明内容は同じです。

【場所】いずれも練馬区役所(練馬区豊玉北6-12-1) ①19階 1903中会議室 ②20階 交流会場

【内容】助成事業および申請方法の説明、助成団体からの活動報告等

【参加費】無料 ※1団体お1人の参加でお願いします

【申込み・問い合わせ先】社会福祉法人練馬区社会福祉協議会 助成事業担当 TEL:03-3992-5600 FAX:03-3994-1224
E-mail:honbu@neri-shakyo.com ホームページ:https://www.neri-shakyo.com/

練馬区立区民協働交流センター(つながる窓口)

区民協働交流センター(つながる窓口)では、町会・自治会、NPO、ボランティア団体などの活動に関する相談を随時受け付けています。どうぞお気軽にご利用ください。

【事前予約が必要な相談内容】

- ① NPO法人の立ち上げ、運営等に関すること
- ② 会計・税務に関すること
専門の相談員や税理士が対応しますので、事前に電話でのご予約をお願いします。



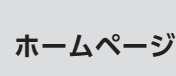
https://www.facebook.com/Nerimakuyodokoryucenter/

練馬区立区民協働交流センター フェイスブック 検索



https://twitter.com/kyodo_nerima

練馬区立区民協働交流センター ツイッター 検索



http://www.nerima-kyodo.com/

練馬区立区民協働交流センター 検索

練馬1-17-1ココネリ3階 TEL:03-6757-2025 年中無休 9時～22時(12/29～1/3は休業)
※新型コロナウイルス感染症に対する練馬区方針に基づき、7月12日～9月12日は、開館時間を21時まで短縮します。

★音声でお読みいただけます 「ねりま地域活動ニュース」は音声で伝える「視覚障害者用」録音版を貸し出しています。ご希望の方は一步の会にお申し込みください。NPO法人点訳・音声訳集団一步の会 練馬区高松2-16-12 TEL:03-3577-5666